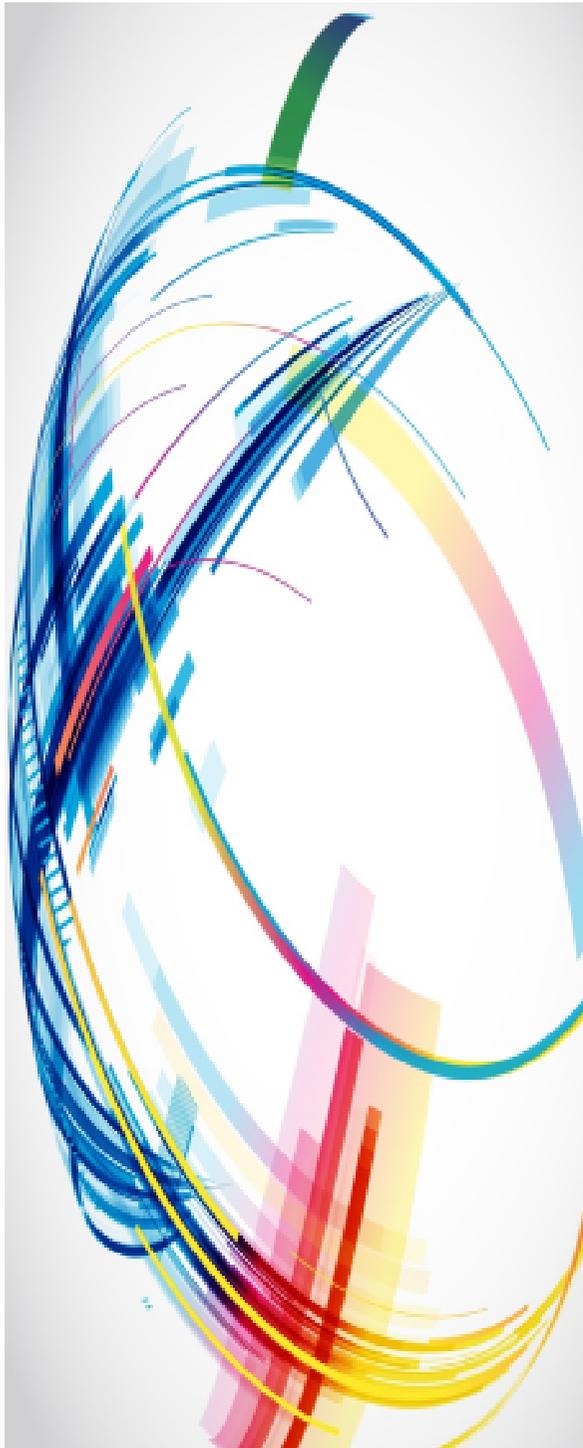


2016年3月期 2Q決算説明会

2015年12月11日



株式会社キョウデン



Contents

1. 2016年3月期2Q 決算概要

2. トピックス・今後の取り組み等

3. 中期経営計画
～ONE KYODEN 600～

4. 参考資料（会社概要 他）

2016年3月期 業績概要(連結)

(単位：百万円)

	2015年3月期 2Q	2016年3月期 2Q	増減額	増減率
売上高	21,471	24,967	3,496	16.3%
売上総利益	3,381	3,628	247	7.3%
営業利益	764	884	120	15.7%
経常利益	666	512	△154	△23.1%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	423	351	△72	△17.0%

セグメント別 売上高・営業利益

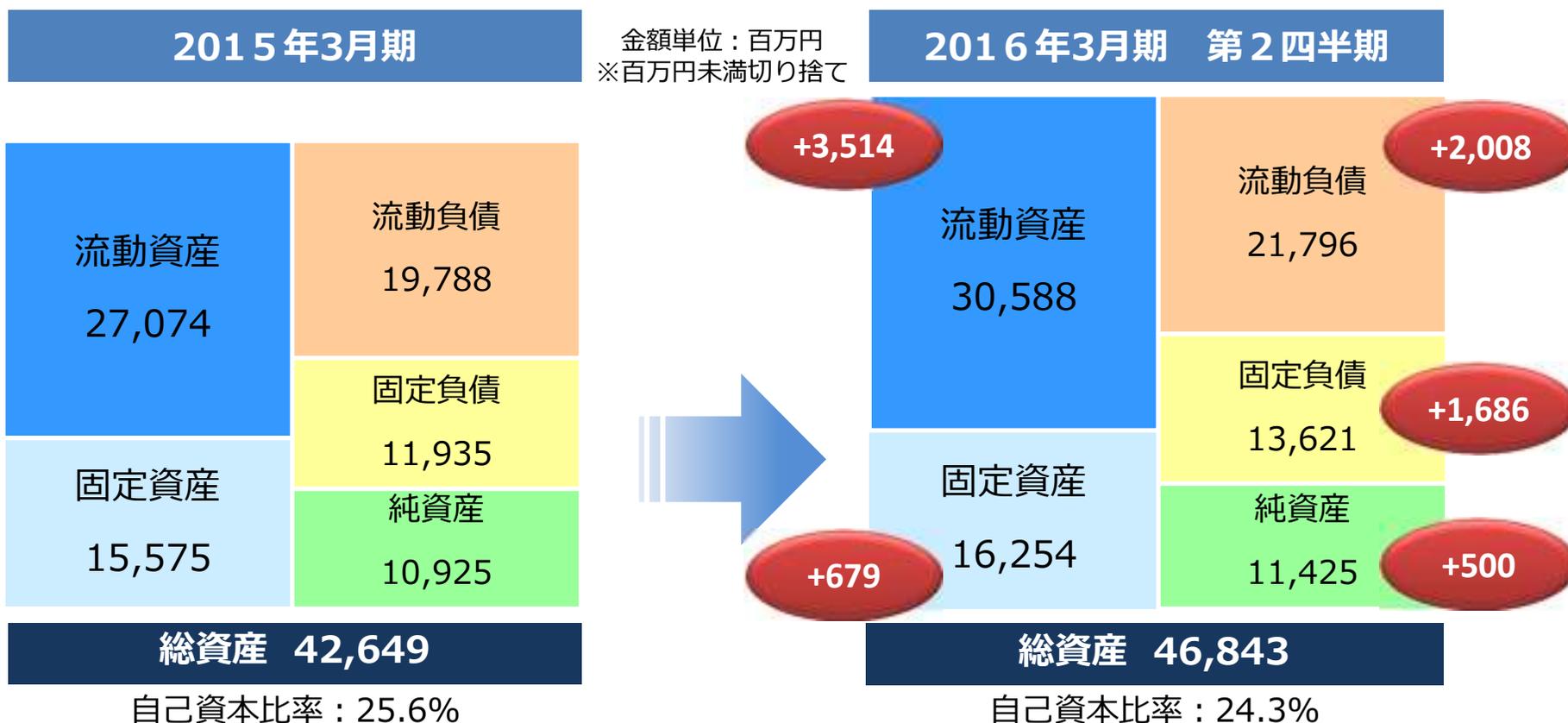
(単位：百万円)

【売上高】	2015年3月期 2Q	2016年3月期 2Q	増減額	増減率
電子事業	17,070	20,359	3,289	19.3%
工業材料事業	4,399	4,608	209	4.7%
その他	1	-	△1	-
合計	21,471	24,967	3,496	16.3%

【営業利益】	2015年3月期 2Q	2016年3月期 2Q	増減額	増減率
電子事業	466	560	94	20.3%
工業材料事業	324	354	30	9.1%
その他	△27	△31	△4	△14.4%
合計	764	884	120	15.7%

- 電子事業：売上高増はキョウデンプレシジョン子会社化による増分＋円安影響
- 工業材料事業：売上高増はジャンテック子会社化による増分

連結貸借対照表



主な増減要因) 全般的に 2件のM&A実施による承継資産・負債増加
 他 流動資産 (↑) : 取引量増加に伴う売掛債権増加
 固定資産 (↗) : 設備投資による増加
 流動負債 (↑) : 取引量増加に伴う買掛債務増加
 固定負債 (↑) : 資金調達による社債・借入金増加

連結キャッシュフロー計算書

(単位：百万円)

	2015年3月期 2Q	当期実績 2016年3月期 2Q	対前期 増減額
営業C F	1	546	545
投資C F	723	△1,100	△1,823
財務C F	△209	658	867
現金及び 現金同等物の残高	9,348	9,459	111

対前期増減の主な要因)

- 営業C F：前期売掛債権の増加、M&A実施による承継債務の増加
- 投資C F：前期固定資産売却、子会社株式取得による支出
- 財務C F：資金調達による借入債務増加

設備投資・減価償却費・研究開発費

(単位：百万円)

	2015年3月期	当期実績 2016年3月期 2Q	予想 2016年3月期
設備投資	1,933	1,253	2,800
減価償却費	1,630	819	1,840
研究開発費	338	155	300

主な設備投資の内容)

- 2015年3月期：タイ工場設備増強、国内電子事業の自動化設備導入 他
- 2016年3月期：国内自動化投資継続、新会社事業へのインフラ投資 他

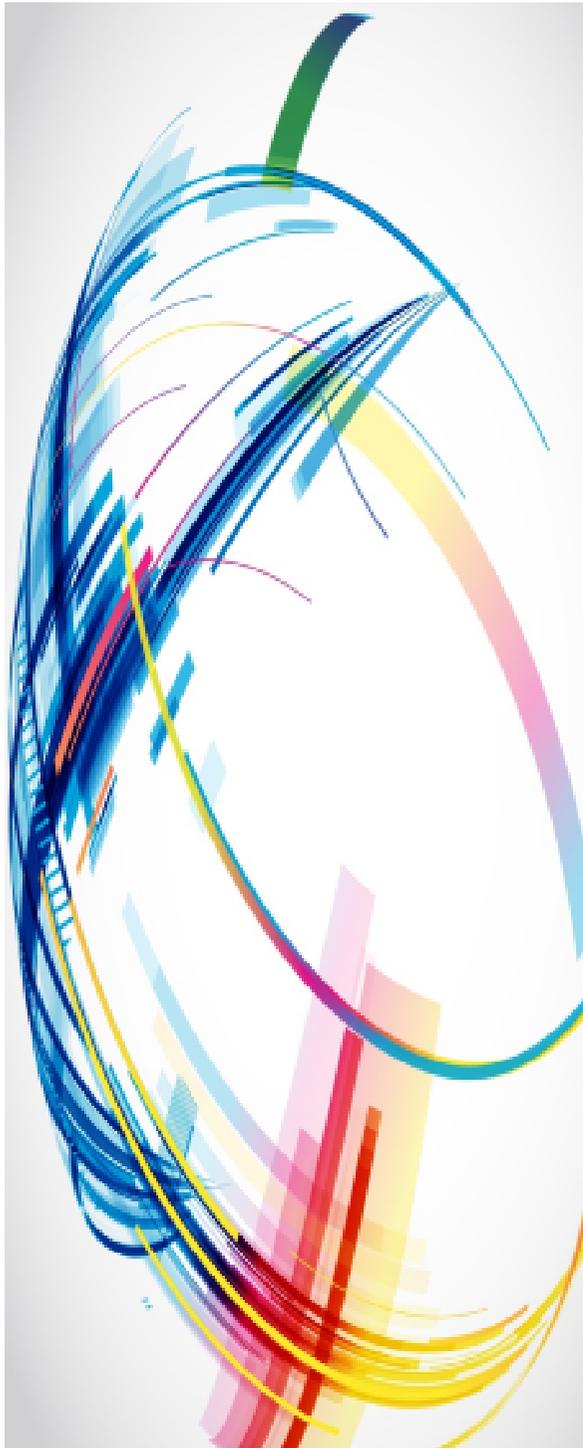
2016年3月期連結業績予想

(単位：百万円)

	1Q-2Q 実績	3Q-4Q 予想	通期予想
【売上高】	24,967	25,533	50,500
電子事業	20,359	20,391	40,750
工業材料事業	4,608	5,142	9,750
その他	-	-	-
【営業利益】	884	816	1,700
電子事業	560	520	1,080
工業材料事業	354	306	660
その他	△31	△9	△40
【経常利益】	512	888	1,400
【親会社株主に帰属 する当期純利益】	351	749	1,100

通期予想トピック)

- 3Q-4Qとしては、従来ビジネスにおいてはやや低調の見通しも キョウデンプレジジョン及びジャンテック・ツルガスパンクリートの子会社化による増収効果を見込む、またM&Aでの負ののれん発生による純利益への寄与見込



Contents

1. 2016年3月期2Q 決算概要

2. トピックス・今後の取り組み等

3. 中期経営計画
～ONE KYODEN 600～

4. 参考資料（会社概要 他）

電子事業

【 事業領域 】

電子事業



開発支援（設計、試作）から国内・海外量産
基板・実装・筐体・組立に至るまでのフルサポート体制

ワンストップソリューション

【製品用途】

電子事業

車載機器向け



ステアリングモジュール
エアバッグ用クロックスプリング
ステアリングスイッチ



ドア用操作モジュール



キーレスエントリーシステム
パッシブキーレスエントリーシステム

- 他
- ・純正・市販カーオーディオ/チューナー
 - ・カーナビゲーション/メーターパネル
 - ・各種センサ/E T C用モジュール

コンシューマ機器向け

- ・エアコン
- ・扇風機
- ・サーキュレーター
- ・冷蔵庫
- ・プリンター/コピー機
- ・プロジェクター
- ・セキュリティー設備
- ・各種照明設備
- ・家庭用工作機器
- ・給湯システム
- ・ガス湯沸かし器
- ・電話器/FAX
- ・インターフォン
- ・PC/タブレット端末
- ・スマートフォン/携帯電話
- ・テレビ/ブルーレイ
- ・DVD/オーディオ・音響機器

産業機器向け



道路・鉄道用信号機
ETC
駐車禁止取締システム
セキュリティカメラ
航空宇宙機器



産業用ロボット/工作機械
インバータ/サーボ/モーター
各種電源装置

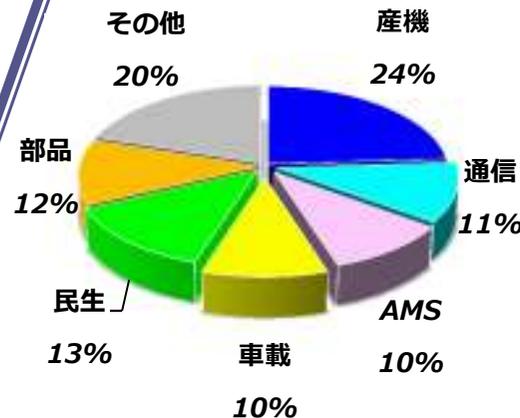


CTスキャナー/MRI
電子顕微鏡/内視鏡
超音波診断装置

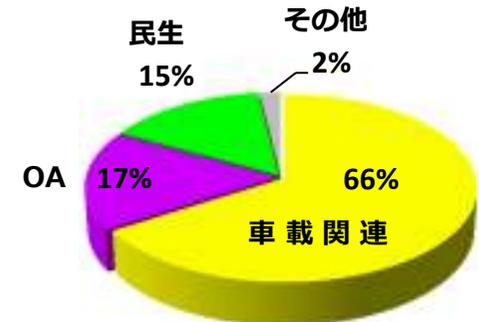
- 他
- ・各種コントロールユニット
 - ・放送機器/通信基地局機器
 - ・計測機器
 - ・業務用画像処理装置
 - ・スマートメーター
 - ・UPS/HEMS/MEMS

◎製品用途別売上構成 (※2014年度実績)

～国内～



～海外～



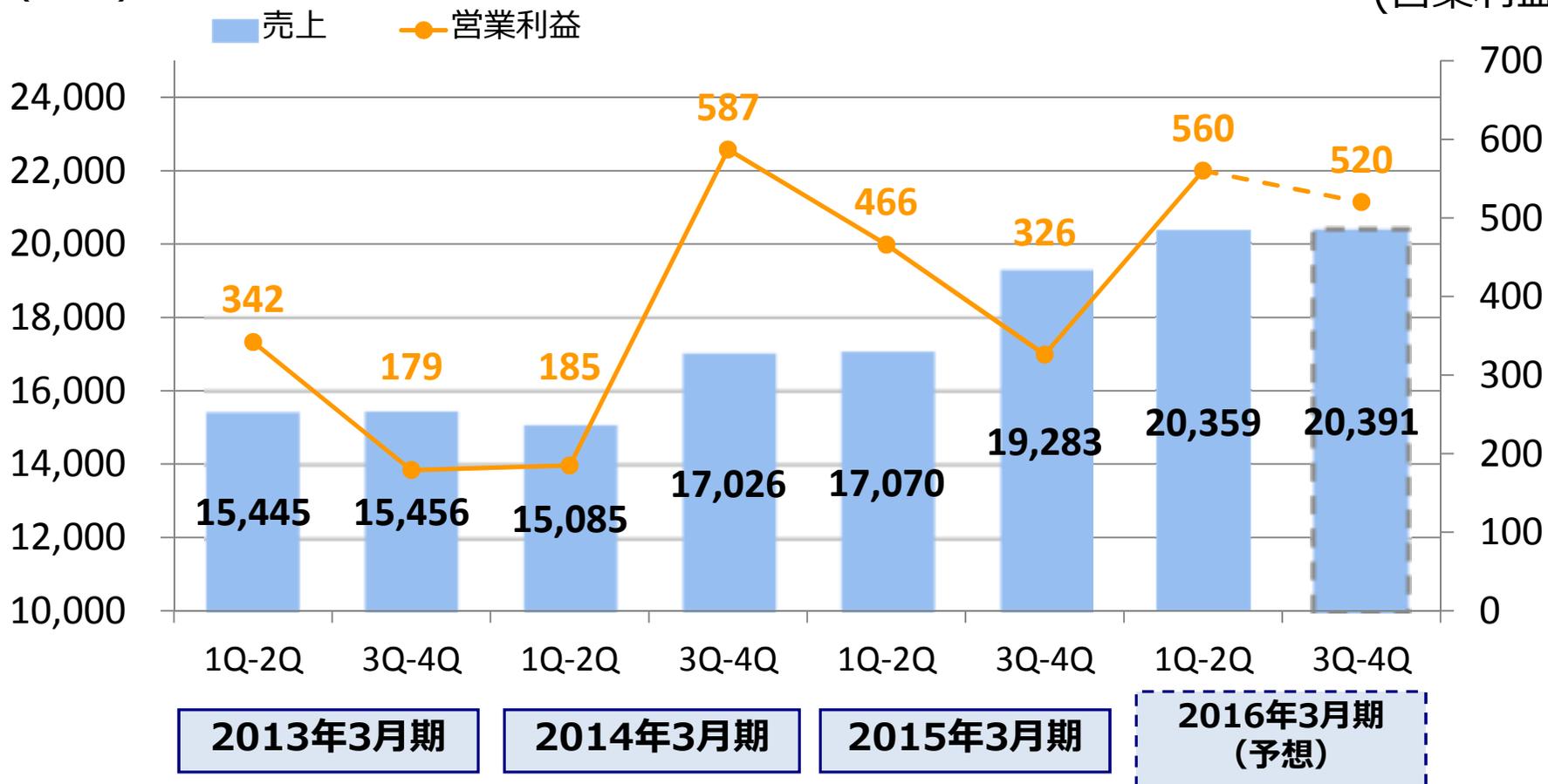
【業績推移】

電子事業

(単位：百万円)

(売上)

(営業利益)



- 2015年3月期：消費税増税の影響懸念に反し好調推移+円安影響
- 2016年3月期：キョウデンプレシジョン子会社化による増収+円安影響

■ 2Qレビュー

- ◆市場トレンドと同様に映像・通信関連で落ち込みがあるものの
車載・産機・アミューズメント機器関連等で受注が好調に推移
- ◆キョウデンプレシジョン子会社化(7月)により承継した販売網の活用
及び従来の製造機能とのシナジー創出への取り組み開始
- ◆販売における基板製造以外(回路設計・実装他)の分野の構成比増加
- ◆業界としては国内大手同業(基板)メーカーの業況悪化事例頻出

■ 今後の取り組み

- ◆成長市場(医療機器・航空宇宙)への積極的参入
⇒製品用途向けのバランスをとることによるリスク回避へ
- ◆生産自動化を目的とした設備投資促進
- ◆国内電子事業4社(KD・KD東北・KD横浜・KD大阪)の統合
⇒事業領域拡大に伴い必要となる機能に向けた人財活用

工業材料事業

【 事業内容 】

工業材料事業

主な取扱品目 ※写真はイメージ

当社製品

ユーザーにおける最終製品

グラスファイバー原料

国内・海外
鉱山



各種
原石調達



破粉碎
・分級等



ガラス繊維原料



ガラスヤーン



耐火物



成形加工



焼成



耐火レンガ



鉄鋼メーカーで
注鉄鍋等を使用



混和材



各種混和材



二輪車用摩擦材



裏籠めモルタル



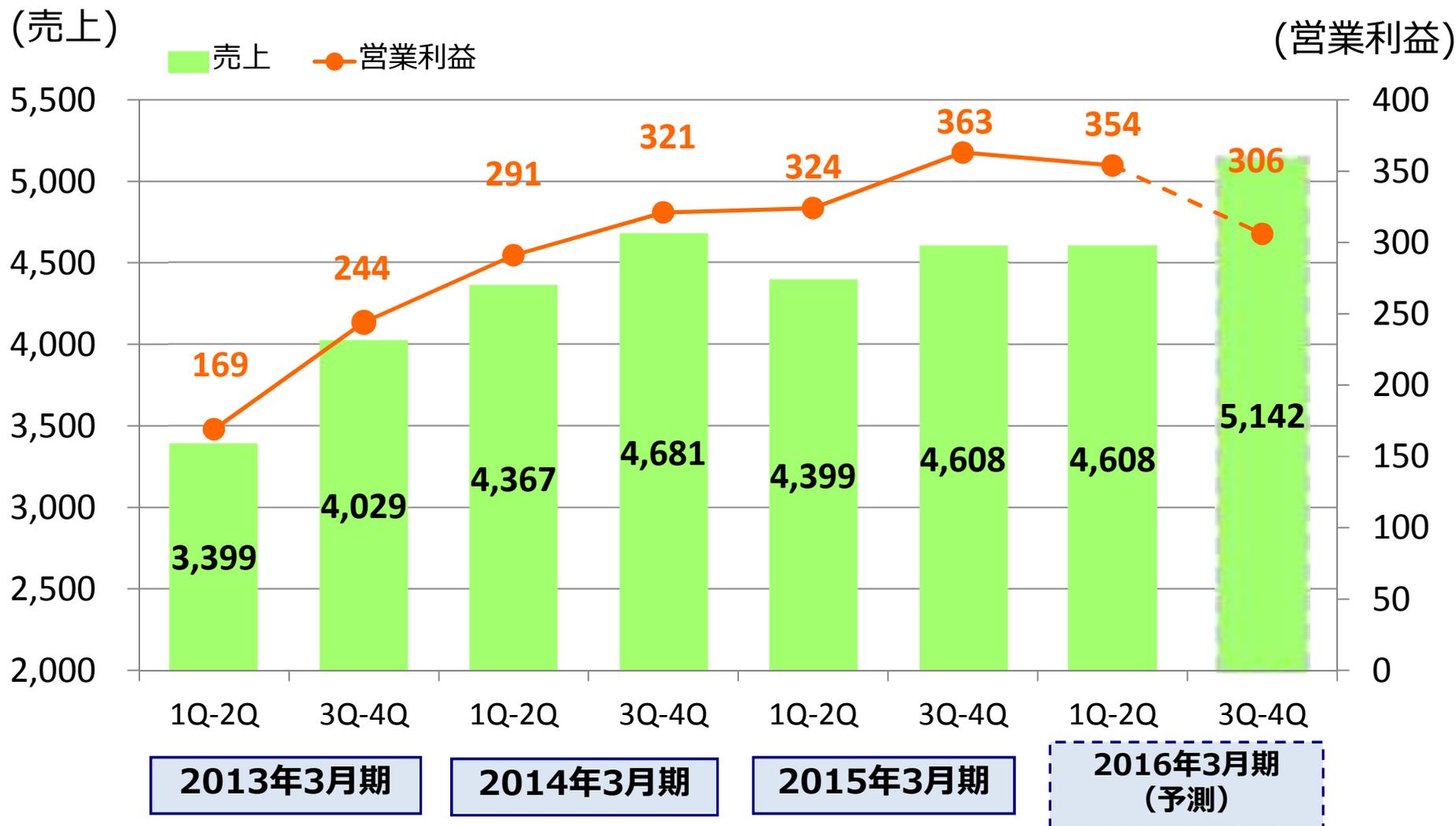
コンクリートパイル



【業績推移】

工業材料事業

(単位：百万円)



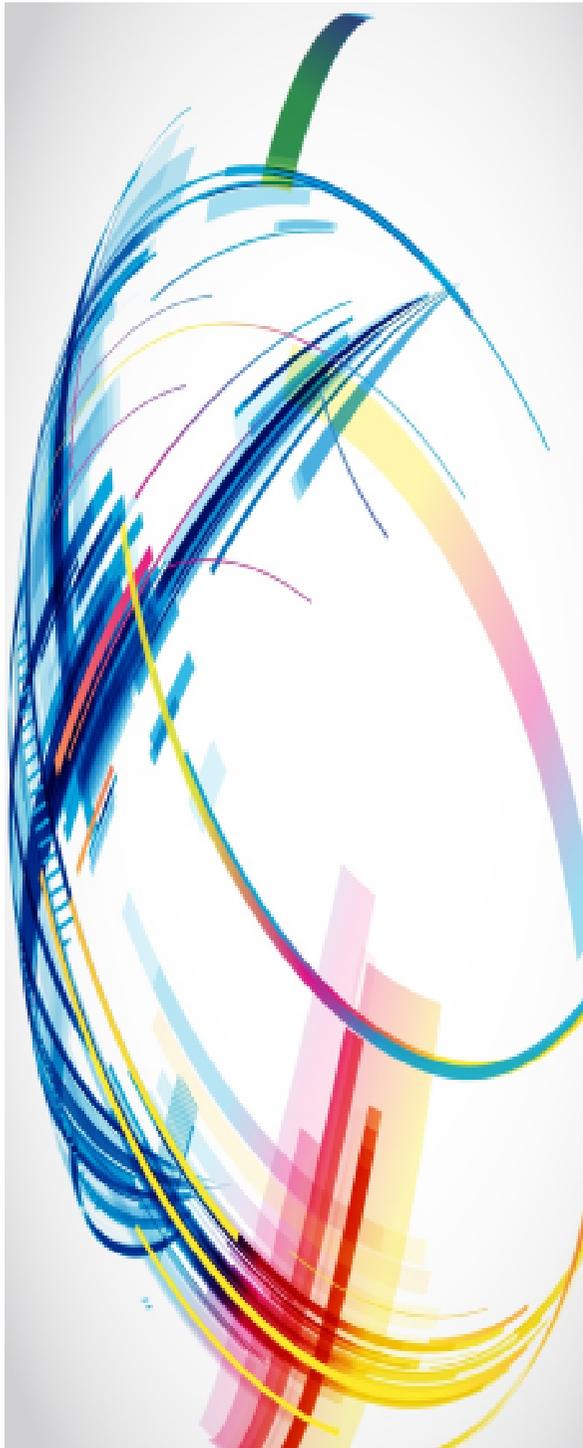
- 2015年3月期：内需回復を受け 主要品目の出荷が堅調に推移 他
- 2016年3月期：新規M&A(2件) による増収、顧客の事業撤退等による減収減益

◆ 2Qレビュー

- 円安等により輸入コスト上昇も
経費削減・販価是正によって前期比増益確保
- グラスファイバー原料・耐火物：出荷は堅調に推移
- モルタル・混和材：作業員不足等により 公共工事向けの出荷が低調
建材業界向け製品の出荷は概ね堅調
- 原料仕入販売：セメント向け減少も衛陶原料等でカバーし増収確保

◆ 今後の取り組み

- 海外新規原料の提案力の強化に努める他 海外原料備蓄機能の提供
破粉碎工程受託等 新たな付加価値の創造
- 熱電材料の早期上市を目指し 開発を加速する
- 事業基盤の拡充策としてM&Aを推進
ジャンテック(6月)・ツルガスパンクリート(10月)を子会社化



Contents

1. 2016年3月期2Q 決算概要
2. トピックス・今後の取り組み等
3. 中期経営計画
～ONE KYODEN 600～
4. 参考資料（会社概要 他）

中期経営計画
～ONE KYODEN 600～

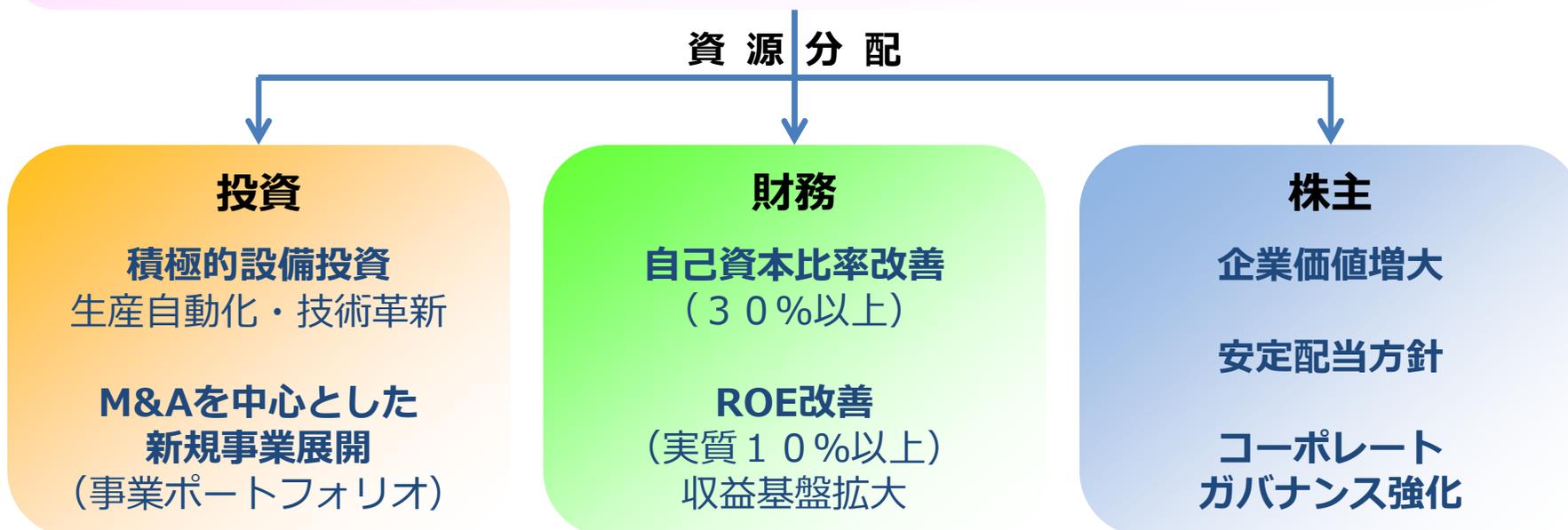
《中期経営方針》

- 高収益企業グループへの変革：
自己資本比率／株主資本利益率／営業利益率を最重要の経営指標とする
- 収益性重視の事業運営徹底：集中と選択 積極的資本投下による事業運営

《事業運営方針》

- お客様に最も信頼されるトータルソリューショングループの実現！
- 業界トップクラスのサービス提供！
- 企業グループ会社間・組織間のシナジー効果創出！
- 付加価値創造と施策のスピーディーな実施！

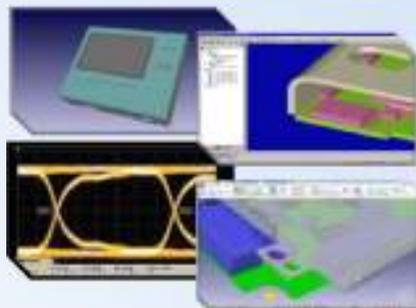
資源分配



～電子事業～

ものづくりの上流下流への進出

⇒ワンストップソリューションの垂直的領域拡充



発展分野
R&D支援
エレメカ協調対応

成熟分野

AW設計
基板製造
基板実装



開拓分野

ユニット組立
機構・筐体
金型設計



◎産業ターゲット

車載・カーエレ



航空・宇宙

医療・ヘルスケア



～工業材料事業～

取扱原料のメニュー拡充

⇒ニッチメジャーの水平的領域拡充

水平

成熟分野

グラスファイバー原料
耐火物
混和材 他

展開



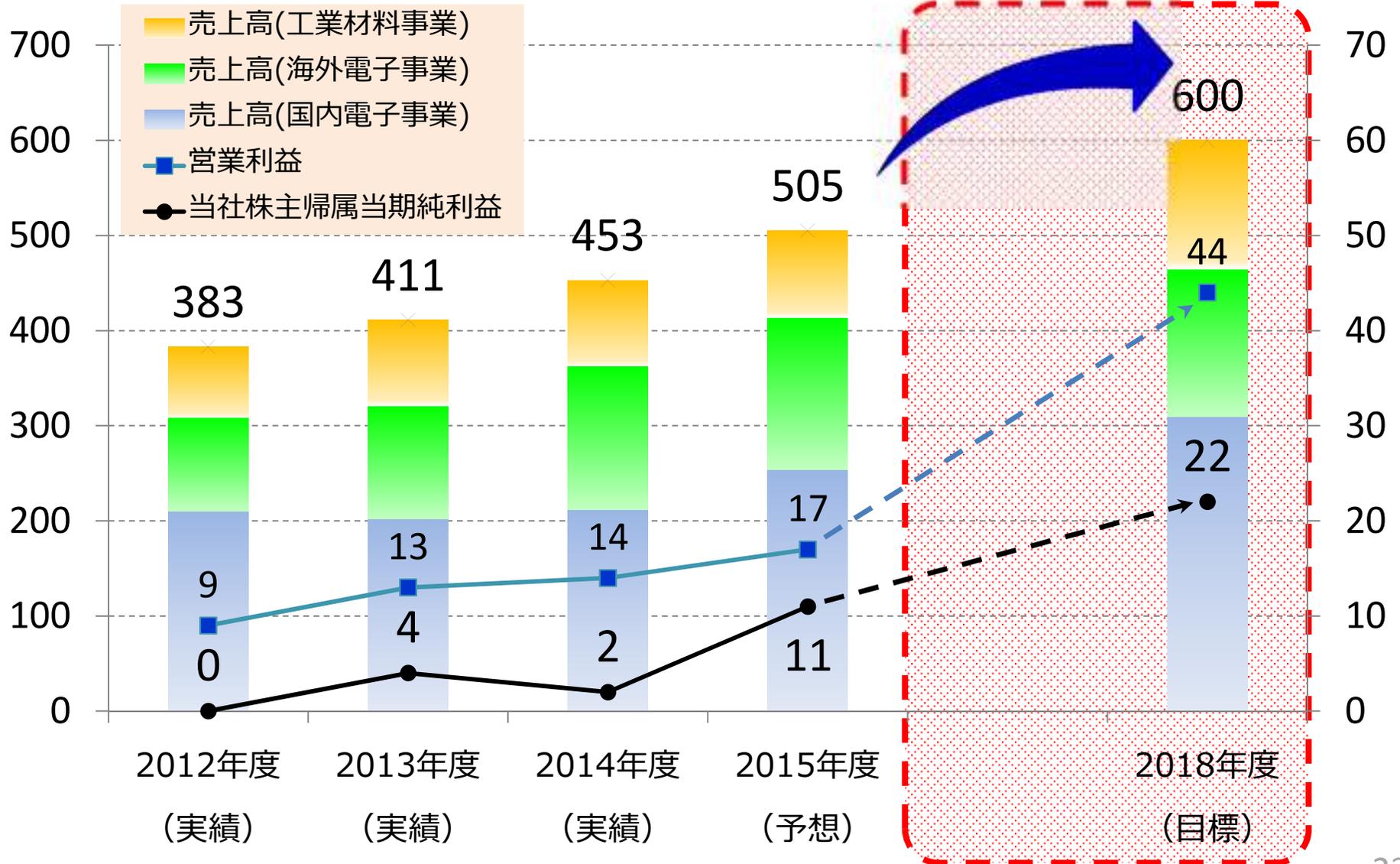
2015年度は金属分野へ新規参入
社会インフラ向けを中心にM&Aによる
展開を継続検討／シナジー模索

【 売上高・利益計画 】

中期経営計画

(売上・億円)

中期計画 (利益・億円)



【 投資計画 ・ 経営指標 】

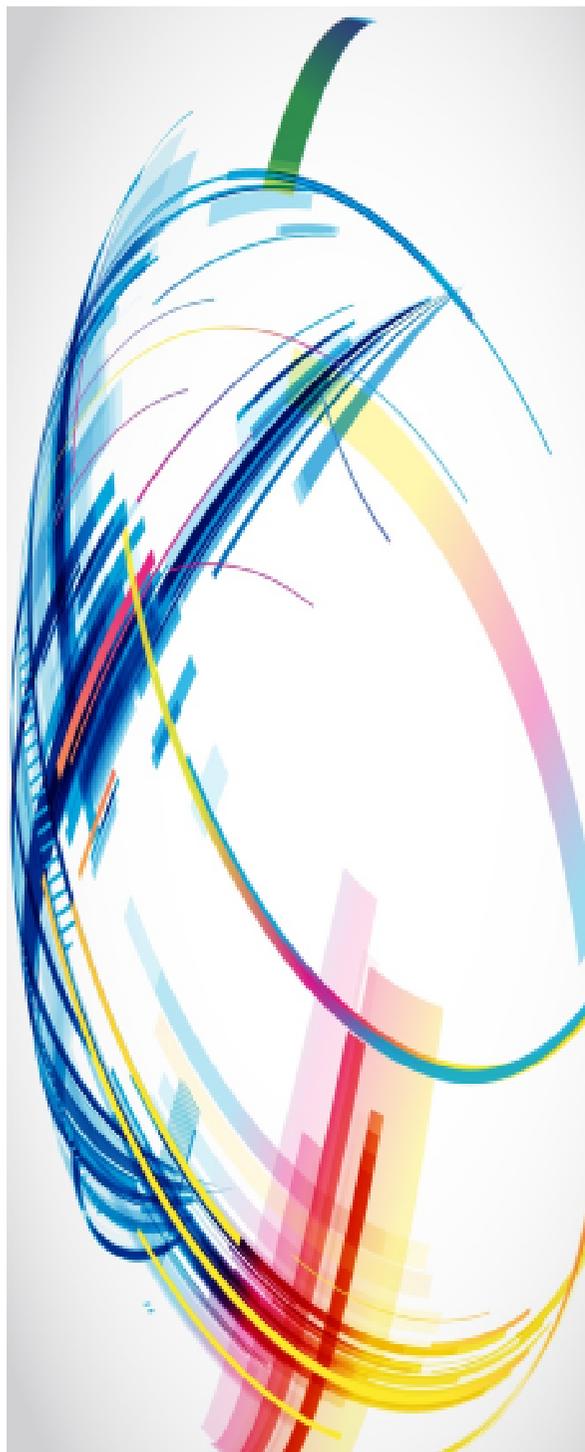
中期経営計画

<単位：億円>

年度	2015年度 (見込)			2018年度 (目標)		
	電子事業	工業材料事業	合計	電子事業	工業材料事業	合計
売上高	414	91	505	465	135	600
営業利益	17			44		
営業利益率	3.4%			7.3%		
当社株主に帰属する当期純利益	11			22		
補正後ROE(※)	7.0%			12.0%		
投資額(※)	28			28		
(減価償却費)	(18)			(21)		
自己資本比率	26.0%			30.0%		

※補正後ROE：特別損益を除外した計算による

※投資額：設備投資 + M&A費用



Contents

1. 2016年3月期2Q 決算概要
2. トピックス・今後の取り組み等
3. 中期経営計画
～ONE KYODEN 600～
4. 参考資料（会社概要 他）

会社概要

会社名	株式会社キョウデン
本社	長野県上伊那郡箕輪町大字三日町482-1
本部	神奈川県横浜市都筑区川和町280
設立	1983年7月19日
資本金	43億5千8百万円
代表者	代表取締役社長 山口 鐘畿
売上高	【単体】 21,149百万円 (2015年3月期) 【連結】 45,375百万円 (2015年3月期)
従業員数	【単体】 541名 (2015年3月末現在) 【連結】 2,256名 (2015年3月末現在)
事業内容	電子機器の開発・設計・製造・部品調達・実装
主要製品	片面～高多層スルーホール基板 ビルドアップ基板 フレキシブル基板 リジットフレキシブル基板 放熱・大電流基板



沿革

- 1983年：電子機器、工業用ロボットの設計及び
一般電化製品の販売を目的として 株式会社キョウデンを設立
- 1990年：箕輪工場（現本社工場）を新設し 本社移転
- 1993年：昭和鋳業（現 昭和KDE）に資本参加
- 1997年：日本証券業協会に株式を店頭登録
- 1998年：国際品質保証規格であるISO9001の認証取得
- 1999年：東京証券取引所市場第二部に株式を上場
- 2001年：トーエイ電資及びTOEI DENSHI (THAILAND) CO., LTD.
（現KYODEN (THAILAND) CO., LTD.）を子会社化
- 2002年：環境マネジメントシステムの国際規格ISO14001の認証取得
- 2003年：日本エレクトロニクス（現：キョウデン東北）を子会社化
- 2007年：トーエイ電資を吸収合併
- 2008年：株式会社アイレックスより新設分割した
キョウデンファインテックを子会社化
- 2010年：昭和KDEを完全子会社化
富士機工電子（現：キョウデン大阪）を完全子会社化
- 2013年：キョウデン大阪の堺工場及び美原工場の生産機能を集約
- 2015年：電子事業において
テックプレシジョンより新設分割した キョウデンプレシジョンを子会社化
工業材料事業において ジャンテック・ツルガスパンクリートを子会社化

電子事業グループ 拠点一覧

営業拠点 国内 全7拠点

- ・仙台営業所:宮城県仙台市
- ・東京営業所:東京都豊島区
- ・横浜営業所:神奈川県横浜市
- ・中部営業所(全3オフィス 長野/静岡/名古屋)
- ・大阪営業所:大阪府泉大津市

営業拠点 海外 全5拠点

- ・タイオフィス:Sriracha,Chonburi,Thailand
- ・ジャカルタオフィス:Jakarta,Indonesia
- ・中国オフィス:広東省東莞市長安
- ・香港オフィス:香港皇后大道東183
- ・ドイツオフィス:Dusseldorf,Germany

製造拠点 国内 全7事業所

- ・長野:長野県上伊那郡
- ・東北:(全2工場 いわき/茨城)
- ・横浜:神奈川県横浜市
- ・静岡:静岡県伊豆の国市
- ・大阪:(全2工場 大阪/貝塚めつきセンター)

製造拠点 海外 全1事業所

- ・タイ : Sriracha,Chonburi,Thailand

タイ事業所

長野事業所

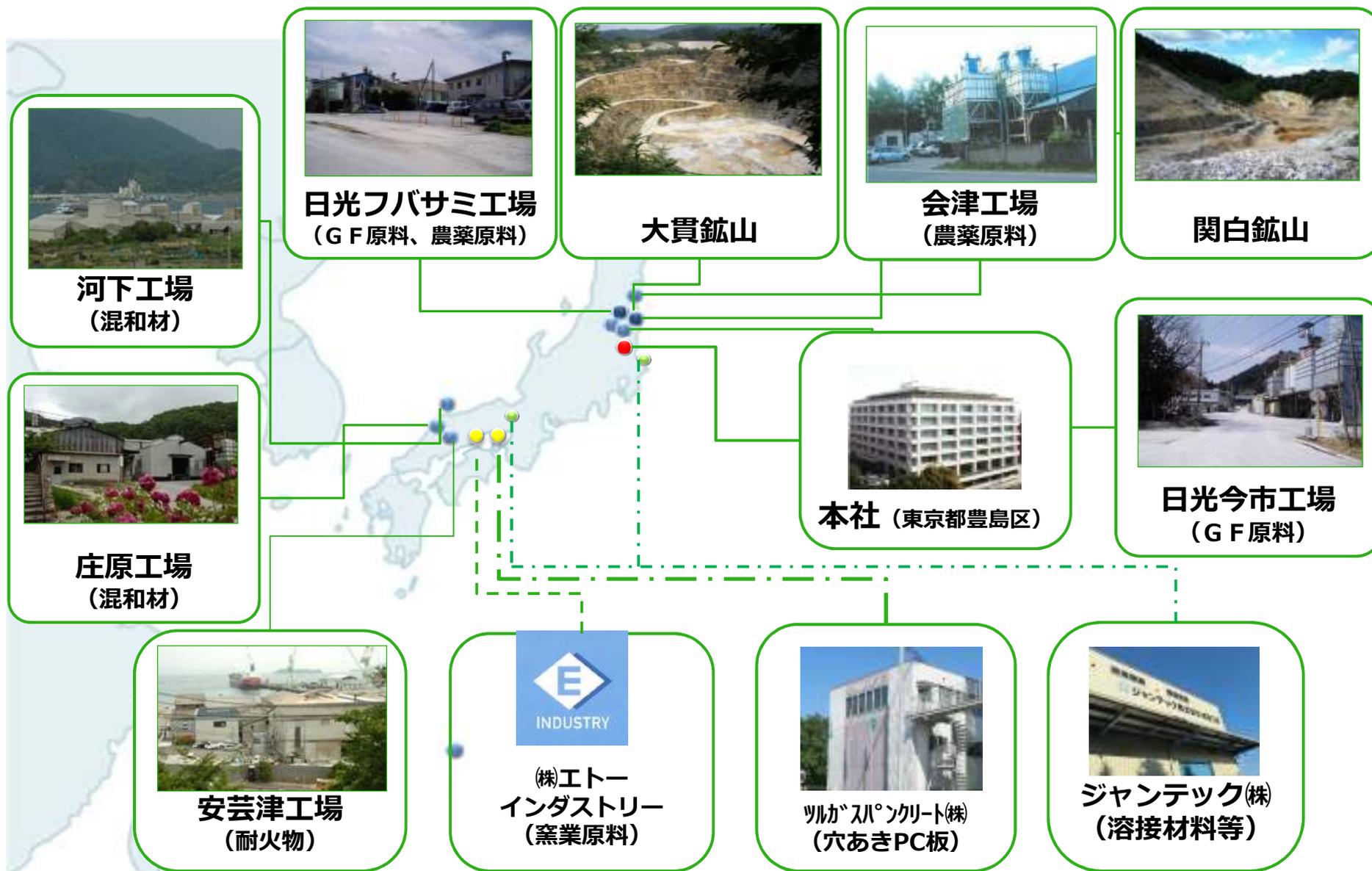
東北事業所

横浜事業所

大阪事業所

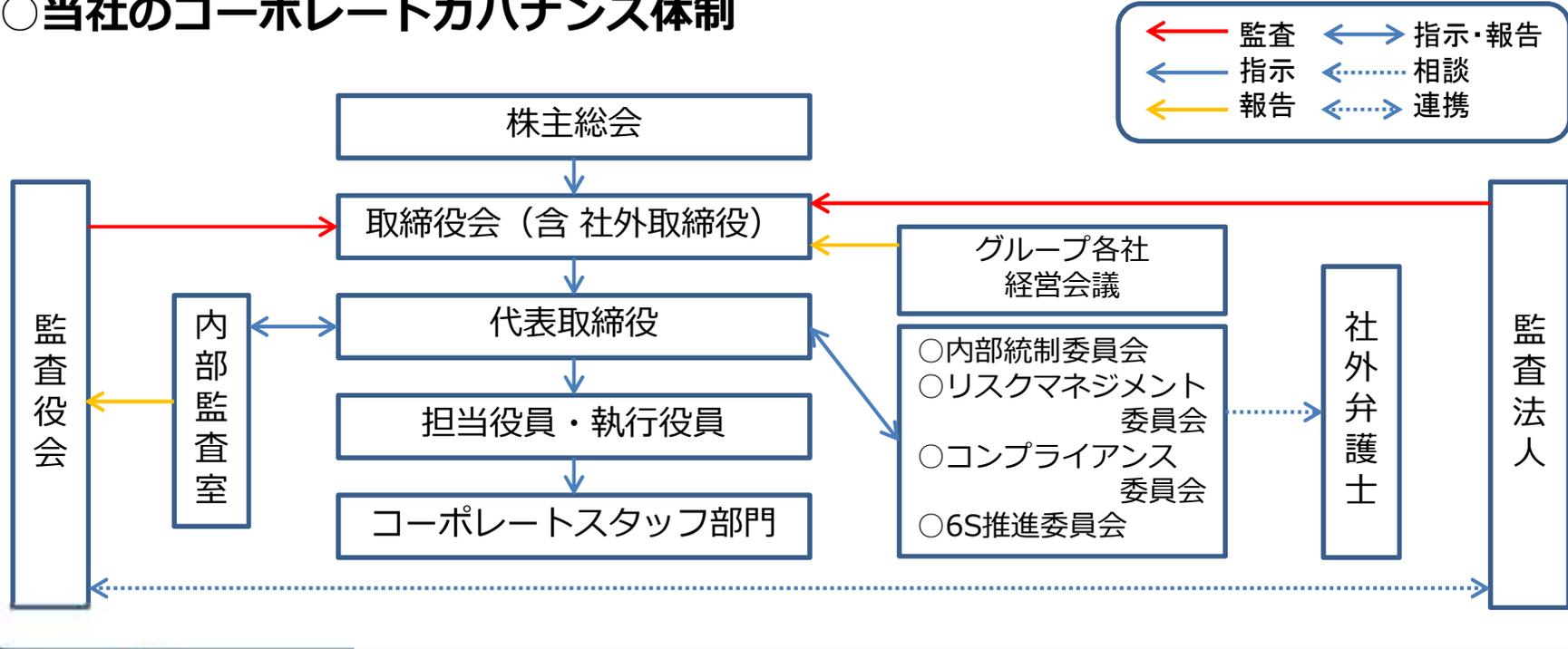
静岡事業所 NEW

工業材料事業グループ 拠点一覧



コーポレートガバナンスの取り組み

○当社のコーポレートガバナンス体制



○コーポレートガバナンスコードへの対応

- ・ 要求コード全 73 項目の実施検討
- ・ 非対応コードについて対応検討及び体制整備実施
- ・ 本年度検討結果：Comply 67 項目 – Explain 6 項目
- ・ 2015年12月 コーポレートガバナンス報告書提出

- 本資料には、将来の業績に関する記述が含まれております。
こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、目標対比異なる可能性があることにご留意ください。
- ご利用に関しては、ご自身の判断にてお願い致します。
本資料に基づいて被ったいかなる損害についても、当社は一切責任を負いませんので、ご承知おきください。



本資料に関するご照会先
株式会社 キョウデン 経営企画部
TEL : 045-929-0501